

# イカナゴ〔地方名：こうなご（稚魚）、めろうど（成魚）〕

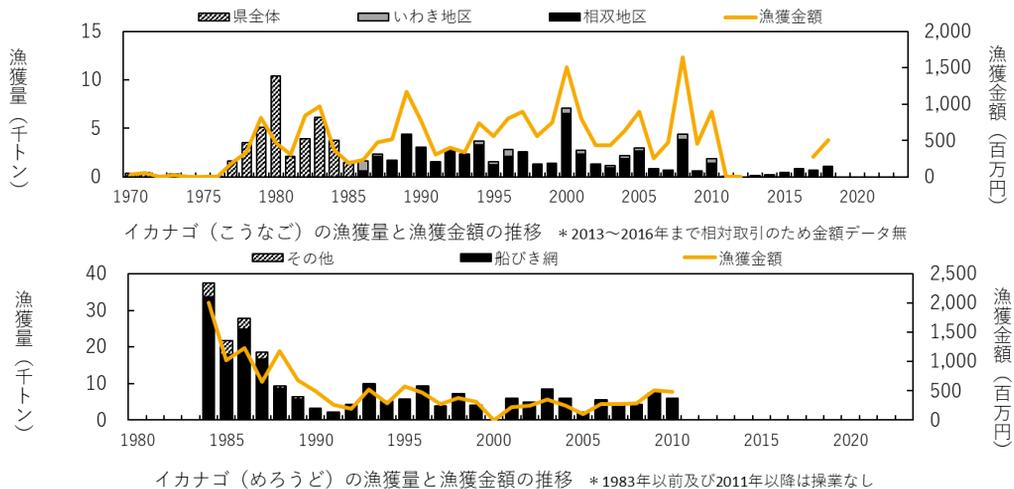
## 1 生態

- ・福島県で漁獲しているイカナゴは仙台湾系群に属しています。産卵期は12～1月で、主な産卵場は仙台湾周辺です。仔魚は1月下旬頃には福島県北部沿岸に運ばれ、2月下旬には中部南部沿岸にも分布が広がります。
- ・孵化直後の仔魚の体長は約5mmですが、3月には全長が概ね35mmを超えて漁獲加入します。全長40mmまでは約0.5mm/日で成長します。
- ・水温が15℃に達する夏季には、水深20～50mの中砂～砂礫帯の海底に潜砂し休眠します。
- ・主にカイアシ類等の浮遊性甲殻類を食べます。



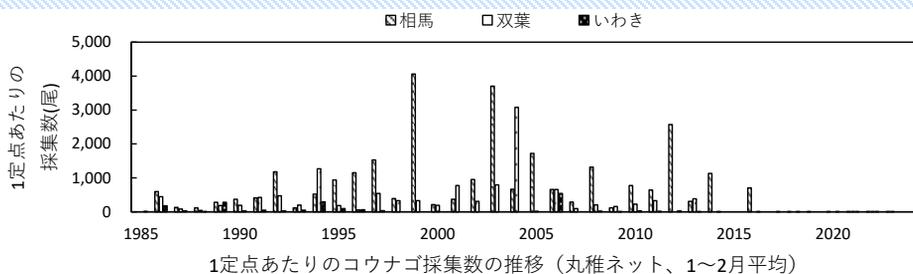
## 2 漁業に関する情報

- ・こうなご（稚魚）及びめろうど（成魚）を操業対象として、いずれも漁法はかけ回りと呼ばれる1隻びきまたは2隻びきの船びき網で漁獲されています。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）3月にこうなごを対象とした操業が再開されました。
- ・2019年（平成31年）漁期以降、漁場が形成されず、操業は行われておりません。



## 3 資源の状態

- ・2019年（平成31年）以降、漁場が形成されないこと、県の調査による採集数が極めて少ない状況が続いていることから、資源は極めて低位であると考えられます。



## 4 資源管理の取組み

- ・相双地区では、低価格となるサイズを漁獲しない様に、着業時期や漁期中の調整を行っていました。（漁期前調査に基づく初漁日の決定、加工不適サイズ（通称ジャンボコウナゴ）が多く混獲される場合の操業休止。）